

MX-INDIGO 1000

インストール&
ユーザーガイド

目 次

PART 1 製品に関する一般的説明

- 1.1--製品の紹介
- 1.2--プロダクト・オーバービュー
- 1.3--製品の技術的仕様
- 1.4--フォトメトリックデータ
- 1.5--安全に関する諸注意

PART 2 本体の設置

- 2.1--マウンティング
- 2.2--フューズの交換
- 2.3--スタンドアロンで使用する場合はセットアップ
- 2.4--LEDボードの交換方法
- 2.5--ゴボの交換方法.
- 2.6--マスター/スレーブ機能を使用する際のセットアップ
- 2.7--DMX512コントローラーを使用する際のセットアップ

PART 3 ディスプレイパネルの操作方法

- 3.1--BASIC
- 3.2--MENU
- 3.3--INTRO
- 3.4--INVERT
- 3.5--RANGE
- 3.6--SPECIAL
- 3.7--EDIT
- 3.8--DEFAULT

PART 4 DMXコントローラーを使って本体を制御する

- 4.1--DMXアドレスの設定
- 4.2--チャンネルアサインメント

PART 5 おかしいな?と思ったら

- 5.1--トラブルシューティング
- 5.2--メンテナンス

1. 製品に関する一般的説明



本製品をご使用になる前に、この説明書を必ずよくお読みください。
単なる使用方法だけでなく、より永く安全にお使いいただくための諸注意事項が記載されています。

WARNING

1.1 プロダクト・イントロダクション

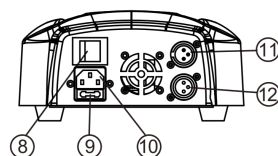
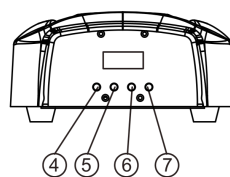
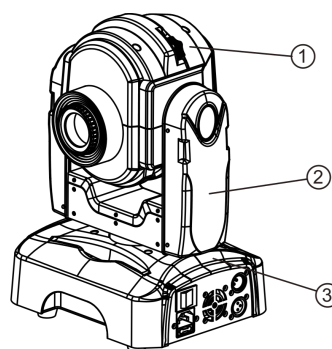
このたびはVersia Indigo-1000 LEDムービングヘッドスポットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は小規模ステージにおける演出照明器具として設計された屋内専用の業務用照明器具です。

本体はDMX512制御に対応しており、お手持ちのDMX512コンソールを用いて灯体を自由に制御できるほか、本体のメモリーにプログラムを内蔵（1シーケンスのみ）することができ、また簡易操作用に2つのオートプログラムも内蔵されています。これらの操作時には外部のコンソールを必要とせず、スタンドアローン機能を使って複数台を自動動作させることが可能です。

1.2 プロダクト・オーバービュー

番号	名称
1	ヘッド
2	アーム
3	ベース
4	Menu
5	Ete
6	Down
7	Up
8	主電源スイッチ
9	フューズ
1	電源入力部
1	DMX 1 (XLR)
1	DMX 2 (XLR)



1.3 製品の技術的仕様

電源入力:AC100~240V、50/60Hz

定格消費電力:45W

LED

LED:1個(アメリカ LUMINOUS DEVICE 社製 20W white)

クーリングシステム:内部ファンによる強制空冷方式

光学システム

フォーカス:マニュアルリニアフォーカス

ディマー:0~100%
 ストロボ:0~20Hz
 エフェクト:3面プリズム

オペレーション

コントロールモード:DMX512/Master-Slave/Auto/Custom/
 Sound

LCD ディスプレイによる各種設定

DMX使用チャンネル数: 9チャンネル/12チャンネル
 パン/チルト

パン 540° チルト 270°
 パン/チルトスピード
 パン/チルトレンジユーザー側で調節可能
 パン/チルトリバースムーブメント機能

ローテティングゴボ

7ゴボ(内部交換可能)+オープン
 ゴボフローエフェクト
 ゴボシェイクエフェクト
 ゴボホイール両方向回転可

カラーホイール

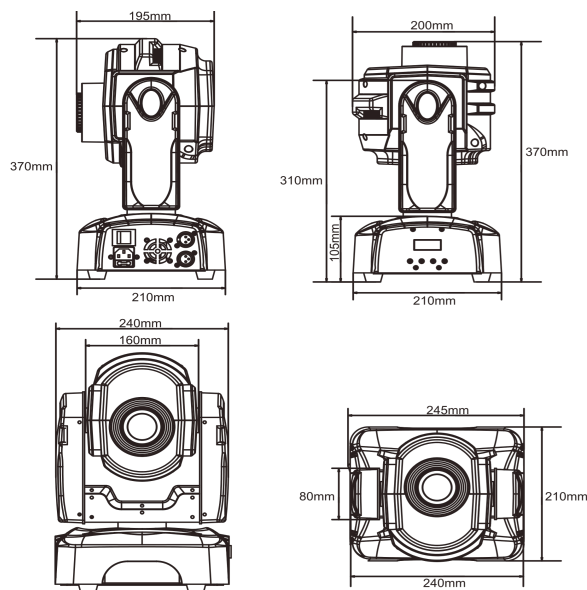
9ダイクロイックカラー+ホワイト
 レインボーエフェクト搭載

その他の機能

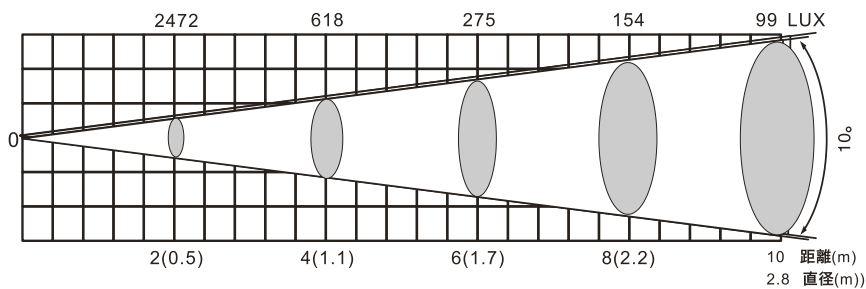
カスタムプログラム内蔵機能(最大255ステップ)

本体寸法: 240x210x370mm(ヘッドを上に向けた状態)

本体重量: 約7kg



1.3 フォトメトリックデータ



1.4 完全に関する諸注意

- 後で参照するために、この説明書は常に本体に近い場所に保管しておいてください。もしも本製品を他の人に譲る場合は、必ずこの説明書を付属してください。
- まれに輸送中の事故等で本体が破損している恐れがあります。最初に本体を開梱するときには特に注意し、傷やダメージ等がないか確認してください。
- 本製品は輸入品ですが、日本国内の電源事情(100V 50/60Hz)にあわせて製作されています。他の電圧等で使用しないでください。

- 本製品をディマーなどの調光装置に接続しないでください。故障の原因となります。
- 本製品の電源コードは、アース端子が別に出ています。感電を避けるために、これらのアース端子をしっかり接続してください。
- 本製品は屋内使用専用モデルです。また、屋内においても湿度の高い場所等では使用しないでください。
- 本製品は発熱します。設置する場合には少なくとも天井面や壁面等の閉鎖空間から50Cm以上離してご使用ください。また、設置する際ファンの排気口がふさがれていないかどうかをよくご確認ください。
- メンテナンスや各種クリーニングを行う場合は、必ず作業の前に「電源プラグを抜いて」ください。
- 本製品は発熱します。設置場所の付近に燃えやすいもの等がないかどうか、必ず確認してください。
- 本製品を壁面や天井に取り付ける際は、かならず指定の安全ワイヤーをご使用ください。
- 本製品の最大許容環境温度は40°Cです。設置前に温度環境を計り、これ以下温度の場所に設置してください。
- 本体の操作中に動作がおかしいと感じたら、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてから販売店もしくはグラフィカカスタマーサービスにご連絡ください。本体にはユーザー自身でサポートできる部品は一切ありません。ユーザー自身で修理を試みないでください。
- 電源コード等を使用中にいたずらに触ることはおやめください。感電の危険性があります。
- 本体のハウジングに深刻なダメージがある場合は、本体を使用しないでください。
- 本体の光源には高輝度LEDを使用しています。直接覗くことはおやめください。目や脳に対して重大なダメージを与える恐れがあります。

【危険】

- 感電や火災等の重大事故を避けるため、本製品を雨や多湿の環境には絶対に設置しないでください。
- 電源を切って5分以内は、本体のキャビネットを開けないでください。やけどの危険性があります。
- 本体のハウジング、内部のレンズ等にダメージが見られる場合は直ちに交換を申し出てください

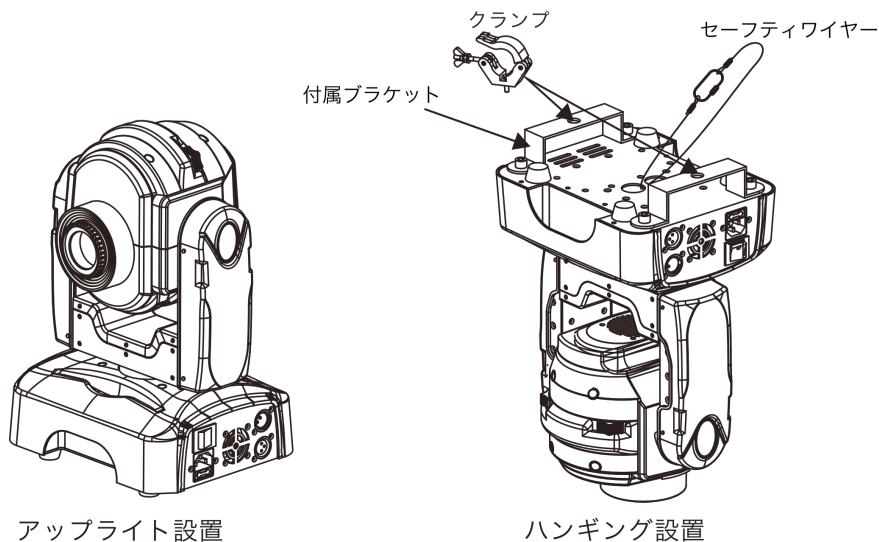
【注意】

本製品にはユーザーご自身で行えるサービスパーツは一切含まれていません。ご自身で修理を試みることは絶対におやめいただき、ご購入の販売店もしくはグラフィカプロダクトサービスにご連絡ください。

2.本体の設置

2.1 マウンティング

本体の設置について、ユーザーであるあなたが十分な知識と経験を持っていないと判断した場合は無理せずなるべく専門業者に依頼するなどしてください。無理に自分で行うと落下等の危険があります。



【設置工事業者の方へ】

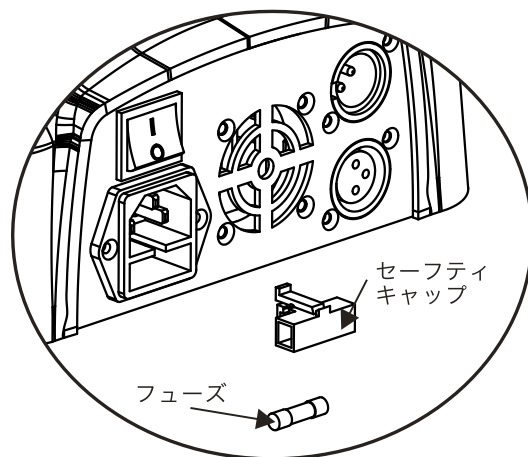
本製品は専用のブラケットを使い、本体に対して固定します。また、このブラケットは舞台用クランプ等を使ってバトン等に設置します。設置の際には本体が完全に固定されているか、または振動等により落下しないかどうかをよく確かめてください。

クランプ等を使用する際には本体重量の10倍以上の耐荷重があるものを、また安全ワイヤーは12倍以上の耐荷重が必要です。本体の安全性を確保するために必ずお守りください。

また、設置する際には設置場所の下側に人がいないかどうか十分確認してから行ってください。

2.2 フューズの交換方法

- フューズキャップを精密ドライバー(-)などを使って取り外します。
- キャップの中には予備のフューズが入っているので、それを取り出します。
- 切れたフューズを取り出し、新たなものを取り付けます。
- フューズキャップを元の位置にはめ込みます。



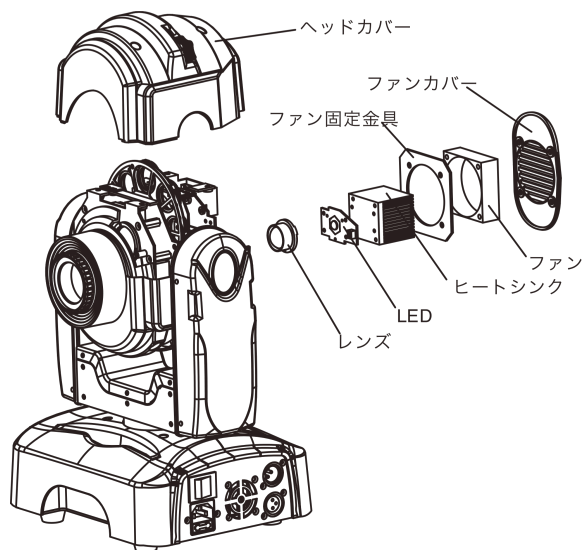
2.3 スタンドアローンで使用する場合のセットアップ

本製品はスタンドアローン（単独）にて使用することが可能です。本体にあらかじめセットされているスタンドアローンプログラムは[AUTO1] [AUTO2] [SOUND1] [SOUND2] および [CUSTOM]の5種類で、どの動作時においても外部コンソールは不要です。

本体のボタンおよびLCDディスプレイを使って<OPERATION>にアクセスし、お好みのプログラムを選択すると機能が働きます。

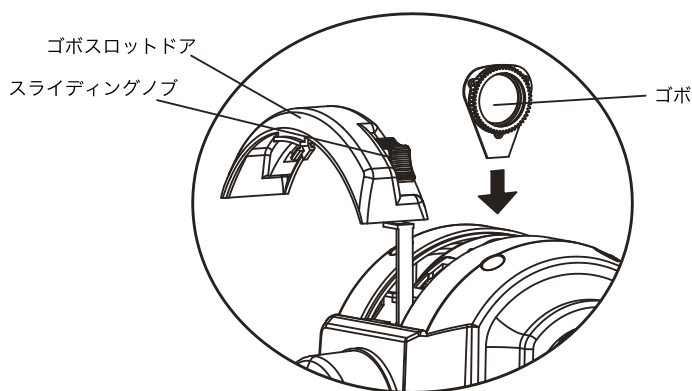
2.4 LEDランプ基盤の交換方法

- ヘッドカバーを取り外します。
- 【ファンサポート】【ファン】および【ヒートシンク】を順番に注意深く取り外します。
- 新しいLEDランプ基盤を取り付けます。
- すべてのパーツを元通りにセットします。

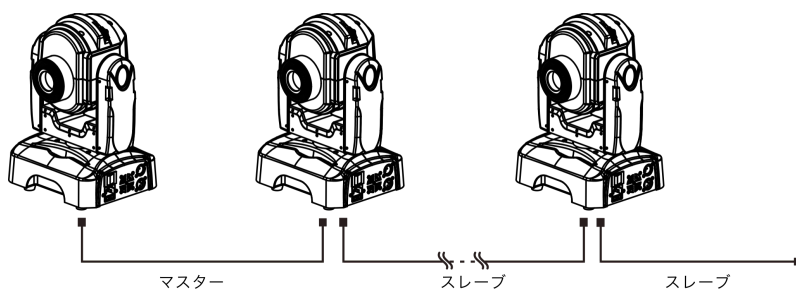


2.5 ゴボの交換方法

- ゴボスロットドアにあるスライディングノブのロックを外します。
- ゴボスロットドアを引きます。
- ゴボを図のように取り外します。
- 取り外したゴボホルダーに新たなゴボをセットし、スロットをロックします。



2.6 マスタースレーブ接続の際のセットアップ



接続には通常のDMX512専用ケーブルを使用します。(別売)

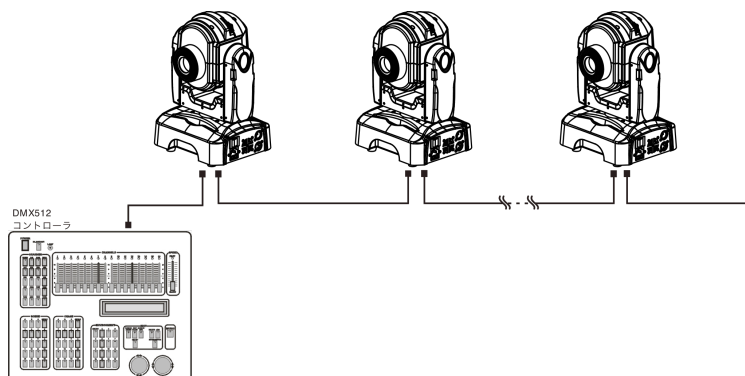
複数の灯体を接続する際は前側の灯体の出力から次の灯体の入力側にケーブルをそれぞれつなぎ、それを繰り返す数珠つなぎ（これをデジーチェーン接続といいます）を行います。ゴボスロットドアにあるスライディングノブのロックを外します。このとき、灯体数に制限はありません。

ケーブルによる接続が終了したら、それぞれの本体に対して【マスター(親機)】あるいは【スレーブ(子機)】の登録が必要になります。詳しくはセクション3.2をご覧ください。

2.6 DMX512コントローラーを使用する際のセットアップ

接続には通常のDMX512専用ケーブルを使用します。(別売)

DMX512とは1990年に制定されたUSITT規格バージョン2のデジタル照明制御共通プロトコルで、現在最も普及している制御規格です。それぞれの灯体に対し「アドレス」を設定することにより、最大512チャンネル分まで使用することができます。(512チャンネルを総称して「ユニバース」と呼ぶこともあります)

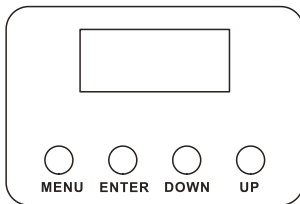


1. お使いのDMXコンソールが5ピンXLRである場合は5ピン→3ピンの変換ケーブルを用いるか、あるいは製作しなければなりません。ピン配列はXLR3ピンと同様で、ピン4/5番は使用しません。
2. 本製品を含むすべての灯体はデジーチェーン接続（渡り接続）として接続しますが、最後尾の灯体には、必ず「ターミネーター」と呼ばれる終端抵抗を接続しなければなりません。ターミネーターはXLR端子の2番ピンと3番ピンとの間に120Ω 1/4Wの抵抗を取り付けます。本製品はオプションでも販売しております。
3. DMXケーブルの接続は常に、必ず「デジーチェーン」接続でなければなりません。Yケーブルなど、分岐ケーブルを使って接続することは認められません。（予期せぬ動作を引き起こしたりメイン基板上の信号の送受信部などにダメージを与えます）

もしも分岐が必要であれば必ず光アイソレート出力形のDMXスプリッターと呼ばれる装置(別売)を必ずご使用ください。

3.ディスプレイパネルの操作方法

3.1 ベーシック

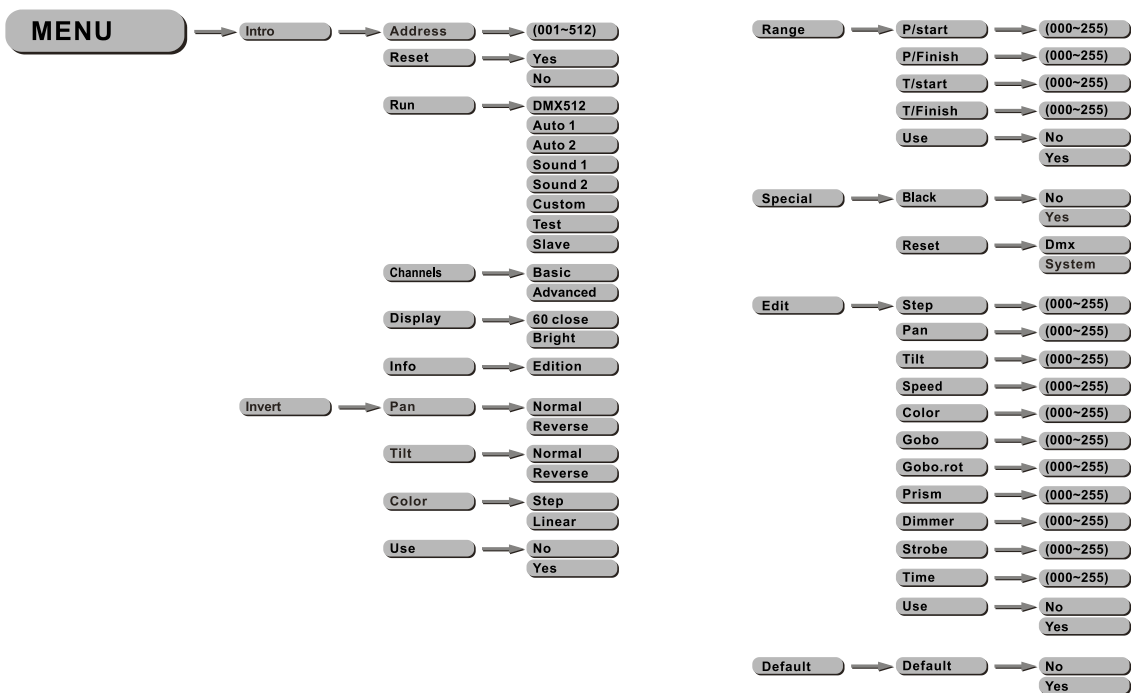


MENU	各種機能のメニューを順送りします。
DOWN	選択した機能について次の値に順送りします。
UP	選択した機能で前の値に戻ります。
ENTER	選択した機能や値を確定します。

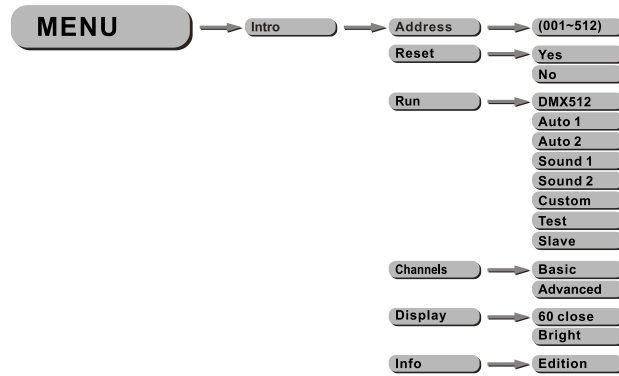
3.2 メニュー

次のツリーにおけるメインファンクションを選ぶには**MENU**ボタンを目的の機能に到達するまで数度押し、**ENTER** ボタンを押します。

次に**DOWN** /**UP** ボタンを押して、機能中のパラメーターを調節、またサブメニューから選択し、さらに**ENTER** ボタンを押すと完了します。あるいは何もせず一定時間以上が経過すると自動的にメインファンクションに戻ります。モード選択をしない場合は単に**MENU** ボタンを押します。

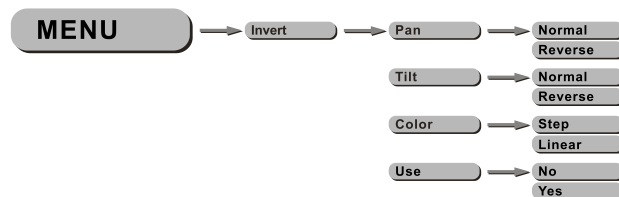


3.3 INTRO



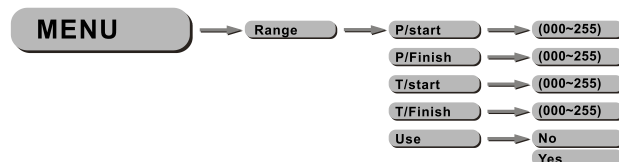
ADDRESS	灯体のDMXアドレスを1~512の間で指定します。
RESET	灯体をリセットするときに用います。
RUN	本体の動作モードです。
CHANNNELS	灯体の動作チャンネル数(Basic=9ChもしくはAdvanced=12Ch)を選択します。
DISPLAY	ディスプレイのバックライト点灯時間を設定します。

3.4 INVERT(モータードライブ反転機能)



PAN	水平方向のムーブメントを反転します。
TILT	垂直方向のムーブメントを反転します。
COLOR	カラーホイールを[STEP=ある値で次のカラーに切り替わる][LINEAR=DMXの値によってステップレスに動作する(ハーフカラー)のどちらかを選択します。
USE	これらの機能を使用するかどうかを設定します。

3.5 RANGE(パン/チルトの動作範囲設定)



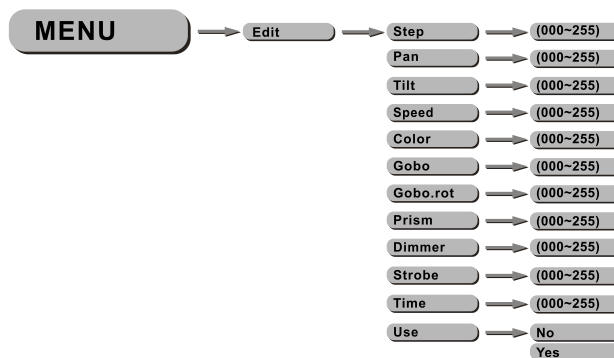
P/START	DMX=0の値での水平方向位置を0~255の範囲で設定します。
P/FINISH	DMX=255の値での水平方向位置を0~255の範囲で設定します。
T/START	DMX=0の値での垂直方向位置を0~255の範囲で設定します。
T/FINISH	DMX=255の値での垂直方向位置を0~255の範囲で設定します。
USE	これらの機能を使用するかどうかを設定します。

3.6 SPECIAL(その他の特別設定)



BLACK	ブラックアウトに際し、3秒のディレイを設定するかどうかを設定します。
RESET	DMX信号の送受信をリセット(DMX)あるいはシステム全体のリセット(SYSTEM)

3.7 EDIT(エディットモード)



このエディットモードは、動作モードの[CUSTOM]で使用するユーザー定義プログラムです。

最大255秒のシーンを256個設定することが可能です。

※繰り返しのショーを作成するときには、最後のステップのTIMEを0にセットしなければなりません。

STEP	ステップ番号です。000~255まで、合計256ステップが記録可能です。
PAN/TILT/SPEED/ COLOR/GOBO/ GOBO.ROT/PRISM/ DIMMER/STROBE	灯体の各種機能について、それぞれ0~255の値の中から設定します。
TIME	シーンの時間を設定します。 (なお、フェードタイムは設定できませんのでご注意ください) このステップを使用するかどうかを設定します。
USE	ここでNOを選択すると、 そのステップは再生されず次のステップに自動的に移行します。

3.8 DEFAULT(工場出荷時設定に初期化)



この機能を使用すると、それまでの各種設定がすべて失われ、工場出荷時の設定に戻ります。

4.DMX512コンソールを用いた操作方法

4.1 ベーシックアドレスの設定

INDIGO-1000は、[BASIC](9Ch動作)および[ADVANCED](12Ch動作)の2種類の動作モードがあります。コンソールを用いる前に、灯体側のモード設定を必ずすませておいてください。

【DMXアドレスの設定】

ここでは通常のDMXコンソールを使った操作方法について説明します。

DMXという信号体系を使った機材は、すべての機材に対し個別の番地（アドレス）を設定することにより、制御するコンソール側からそれらの機材すべてが認識でき、この認識があって初めて操作できることとなります。このモードではそれぞれの灯体のDMXアドレスを1から512までの間で個別に設定しなければなりません。例えば、ADVANCEDモードですべてどうさせるときには、1番目の灯対は1、2番目の灯体は13、3番目の灯体は25...といった用になります。もし複数の灯に対して同じDMXアドレスを設定した場合は、これらの灯体は同じ動きをなします。

4.2 チャンネルアサインメント

【ADVANCEDモード】

チャンネル		有効なDMX値	チャンネルの機能		
1	パン	0~255	パン(垂直方向)ムーブメント 0~540°		
2	パンファイン	0~255	パン位置微調整(16ビット)		
3	チルト	0~255	チルト(水平方向)ムーブメント 0~270°		
4	チルトファイン	0~255	チルト位置微調整(16ビット)		
5	パン/チルトスピード	0~255	パンおよびチルトのスピード調節(速→遅)		
6	カラー	0~14	オープン (ホワイト)		
		15~29	レッド		
		30~44	イエロー		
		45~59	グリーン		
		60~74	ピンク		
		75~89	ブルー		
		90~104	オレンジ		
		105~119	マゼンタ		
		120~134	ライトブルー		
		135~149	ライトグリーン		
		150~255	レインボーエフェクト		
		7	ゴボホイール	0~9	オープン (ホワイト)
				10~19	GOBO1
20~29	GOBO2				
30~39	GOBO3				
40~49	GOBO4				
50~59	GOBO5				
60~69	GOBO6				
70~79	GOBO7				
80~99	GOBO7シェイク				
100~119	GOBO6シェイク				
120~139	GOBO5シェイク				
140~159	GOBO4シェイク				
160~179	GOBO3シェイク				
180~199	GOBO2シェイク				
200~219	GOBO1シェイク				
220~255	ゴボホイールローテート				
8	ゴボローテーション			0~2	ストップ
				3~6	ゴボローテート(時計方向)最も遅い
				7~128	ゴボローテート(時計方向) 遅→速
		129~132	ストップ		
		133~136	ゴボローテート(反時計方向)最も遅い		
		137~255	ゴボローテート(反時計方向) 遅→速		
9	プリズム	0~127	機能なし		
10	ディマー	128~255	3面プリズムON(プリズムは回転しない)		
11	ストロボ	0~255	———		
		0~31	クローズ		
		32~63	オープン		
		64~95	ストロボ (遅→速)		
		96~127	オープン		
		128~159	パルスストロボエフェクト (遅→速)		
		160~191	オープン		
		192~223	ランダムストロボエフェクト (遅→速)		
224~225	オープン				
12	コントロール	0~19	機能なし		
		20~39	パン/チルトムーブブラックアウト機能ON (3秒連続で有効)		
		40~59	パン/チルトムーブブラックアウト機能OFF (3秒連続で有効)		
		60~79	AUTO1 (3秒連続で有効)		
		80~99	AUTO2(3秒連続で有効)		
		100~119	SOUND1 (3秒連続で有効)		
		120~139	SOUND2 (3秒連続で有効)		
		140~159	CUSTOM		
		160~179	セルフテスト (3秒連続で有効)		
		180~199	機能なし		
		200~219	リセット (3秒連続で有効)		
		220~255	機能なし		

【BASICモード】

チャンネル		有効なDMX値	チャンネルの機能
1	パン	0~255	パン(垂直方向)ムーブメント 0~540°
2	チルト	0~255	チルト(水平方向)ムーブメント 0~270°
3	カラー	0~14	オープン (ホワイト)
		15~29	レッド
		30~44	イエロー
		45~59	グリーン
		60~74	ピンク
		75~89	ブルー
		90~104	オレンジ
		105~119	マゼンタ
		120~134	ライトブルー
		135~149	ライトグリーン
		150~255	レインボーエフェクト
4	ゴボホイール	0~9	オープン (ホワイト)
		10~19	GOBO1
		20~29	GOBO2
		30~39	GOBO3
		40~49	GOBO4
		50~59	GOBO5
		60~69	GOBO6
		70~79	GOBO7
		80~99	GOBO7シェイク
		100~119	GOBO6シェイク
		120~139	GOBO5シェイク
		140~159	GOBO4シェイク
		160~179	GOBO3シェイク
		180~199	GOBO2シェイク
		200~219	GOBO1シェイク
		220~255	ゴボホイールローテート
5	ゴボローテーション	0~2	ストップ
		3~6	ゴボローテート(時計方向)最も遅い
		7~128	ゴボローテート(時計方向)遅→速
		129~132	ストップ
		133~136	ゴボローテート(反時計方向)最も遅い
		137~255	ゴボローテート(反時計方向)遅→速
6	プリズム	0~127	機能なし
		128~255	3面プリズムON(プリズムは回転しない)
7	ディマー	0~255	
8	ストロボ	0~31	クローズ
		32~63	オープン
		64~95	ストロボ (遅→速)
		96~127	オープン
		128~159	パルスストロボエフェクト (遅→速)
		160~191	オープン
		192~223	ランダムストロボエフェクト (遅→速)
		224~225	オープン
9	コントロール	0~19	機能なし
		20~39	パン/チルトムーブブラックアウト機能ON (3秒連続で有効)
		40~59	パン/チルトムーブブラックアウト機能OFF (3秒連続で有効)
		60~79	AUTO1 (3秒連続で有効)
		80~99	AUTO2(3秒連続で有効)
		100~119	SOUND1 (3秒連続で有効)
		120~139	SOUND2 (3秒連続で有効)
		140~159	CUSTOM
		160~179	セルフテスト (3秒連続で有効)
		180~199	機能なし
		200~219	リセット (3秒連続で有効)
220~255	機能なし		

5.おかしいな?と思ったら

5.1 トラブルシューティング

以下に記述する事項は、運用中によくある症状とその解決方法について記述したものです。修理を要請する前に、以下の事項について検討してください。

A. 灯体が動かない、光が出ない、またファンが動かない場合

1. 正しく電源が投入されているかどうかを確認します。電源コネクタがきちんと接続されているかどうか、またメインフューズが切れていないかどうかチェックしてください。
2. コンセント側の電圧を測定し、100V程度あるかどうか確認してください。90V程度ですと動作しないことがあります。
3. もしそれでも電源が入らない場合は、電源ケーブルを交換してみてください。電源ケーブルはお近くのPCショップやホームセンター等で購入できます。
4. ランプボードの不良もしくはLEDの寿命、焼損が考えられます。LEDランプボードを交換してください。

B. DMXコンソールからの操作に反応しない場合

1. 本体のDMX受信ランプが点灯しているかどうかを確認します。点灯している場合はDMX信号を受信していますが、そうでない場合はケーブルの接続に問題があると考えます。
2. もしもDMX受信ランプが点灯していながら動作しない場合は、DMXアドレスの設定が間違っている可能性があります。設定を再度確認してください。
3. さらに、お使いのDMXケーブルの信号が反転している可能性があります。ケーブルチェッカー等を使って、正しいピン接続かどうかを確認してください。
4. コンソールを換えてチェックしてみてください。また、問題のある灯体をスキップさせて正しい動作をするかどうかを確かめてください。
5. DMXケーブルの設置状況を確認します。高電圧電源などと一緒に配置すると、ノイズがDMXケーブルに混入し正しく動作しない可能性が高いです。

C. 音楽同調（サウンドアクティブ機能）に反応しない場合

1. 本体部のマイクروفोनを軽くたたき、動作を確認します。

D. DMXチャンネルのうち1つが正しく動作しない場合

※この場合は修理対応となるケースが多いので、お買い上げいただいた販売店あるいはグラフィカプロダクトサービスチームへのご連絡が必要です。

1. おそらく内部の基盤(LED607コントロールPCB)に異常を来たしていることが考えられます。

5.2 メンテナンス

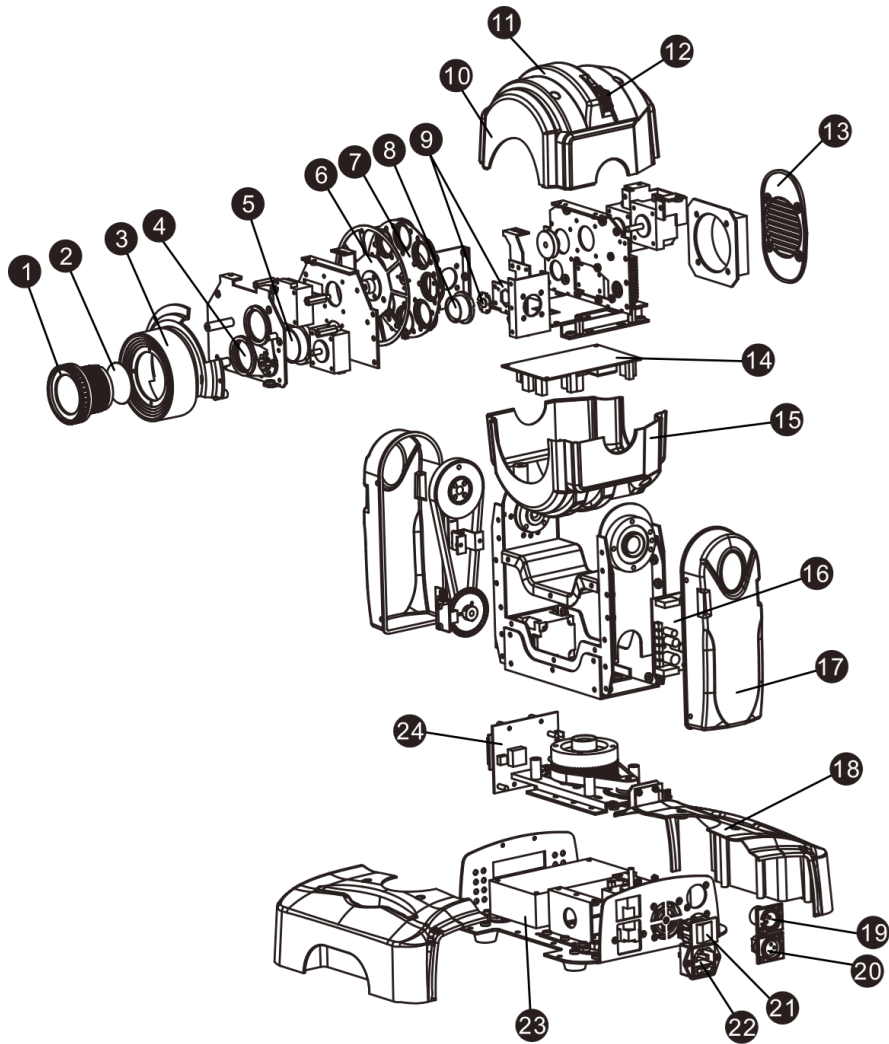
本体を使う際、特に気をつけなければならないのはメンテナンスです。メンテナンスを怠った灯体は製品寿命を著しく縮めてしまいます。

本製品は本体冷却にDCファンを使ったもので、この部分が適切に動作し、エアブローがなされないと各所に著しいダメージを与えます。

さらに本製品は光学製品です。1ヶ月に1度程度、ファンに対してはブロアーもしくは掃除機等を使って埃を外から取り除くようにしてください。また、レンズ部は以下の容量に従ってクリーニングします。

- 市販のガラスクリーナーとウェスを使います。
- 本体カバーを開け、レンズの外側と内側にある汚れをていねいにふき取ります。
- このとき、クリーナーがほかの電子パーツ等にかからないよう注意してください。あらかじめウエスに少しだけ吹き付けてから拭くようにします。

【分解図】 ※ユーザーは分解しないでください



No	ITEM
1	フロントレンズカバー
2	フロントレンズ
3	マウスカバー
4	プリズム
5	レンズ
6	カラーホイール
7	ローテートゴボホイール
8	レンズ
9	LED 基盤
10	ヘッドカバー B
11	ゴボスロットドア
12	スライディングノブ

No	ITEM
13	ヘッドファンカバー
14	コントロール基盤
15	ヘッドカバー A
16	ドライバー基盤
17	アーム
18	ベースカバー
19	DMX 接続端子 (XLRメス)
20	DMX 接続端子 (XLRオス)
21	電源スイッチ
22	電源端子 (IEC)
23	パワーサプライ
24	ディスプレイ基盤

製品の保証とアフターサービス

この製品は厳しい出荷前製品検査を経て出荷され、また国内到着後当社の厳密な検査にも合格した上で出荷されたものです。しかしながらご使用中に万一製造上の不備による故障が発生した場合は、製品に同梱している保証書に記載された保証規定に従い保証期間に限り無償修理致します。

なお、本製品の保証期間は販売店よりお買い上げの日より換算して1年間です。

また、本製品は下記輸入元の正式な手続きを経て輸入されており、それ以外のいかなる者により国内に調達された製品に関してはどのような場合にあっても製品保証の対象外とさせていただきますのであらかじめご了承ください。

詳しい保証内容等につきましては、添付の製品保証書をご覧ください。

This warranty program is valid only in Japan.

【修理に関する御相談先】

▼国内輸入総代理店

グラフィカ株式会社 技術開発部 プロダクトサービスチーム

電話086-239-0010

FAX : 086-239-0020

〒700-0976岡山市中区倉田295-15

メールでのお問い合わせは：service@graphica.ne.jpまでお願いします。

【グラフィカからのお願い】

グラフィカではお客様へのサービス向上精神を追求するため、より迅速できめの細かいサービスを心がけております。

そのためにユーザーさまに数点のお願いがあります。

- ※ 製品を送付される前に必ずお電話、メール、ファックス等で事前の連絡をお願いします。その際、症状やその頻度などを詳しくお知らせください。ほとんどの場合が電話等による相談サービスで解決しますが、修理が必要と判断したときには修理受付番号を申し上げますので番号をお手元にお控えいただき、弊社にお送りいただきます様をお願いします。また、無償修理の場合保証期間内であることが証明された「製品保証書」が必要になります。それ以外の修理はいかなる場合においても有償となりますのでご了承ください。
- ※ 初期不良交換および初期不良修理以外における無償期間修理対応を含めた弊社向けの送料はまことに勝手ながらお客様負担となります。着払いでお送りいただいたとしても、商品返却時に実費をご請求いたしますので、あらかじめこの点だけはご了承ください。
- 本製品に関する保証制度は、販売店よりご購入したオリジナルユーザー（最初のユーザー）のみ有効です。保障期間内に譲渡された場合、被譲渡者には保証制度の一切の権利は継承されません。